

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06208
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	「ゲノムの時代」の食と農業を考えよう～ゲノム編集と遺伝子組み換え技術～					
	学問分野	番号	33	名称	農学	
3. 担当教員	金岡 雅浩 生物資源科学部 生命環境学科生命科学コース 教授					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和5年7月29日 (土) 9時00分 ~ 12時20分 (60分×3回)					
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	30人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>【講座概要】 私たちは自然の恵みを食料としていただいて生きています。人類は、効率よく育つ／大量に収穫できる／病気に強い／おいしいなどさまざまな利便性を求めて、作物を選抜したり改良したりしてきました。近年、さまざまな生物のゲノム情報が利用できるようになり、ゲノムを操作する技術も次々と発表され、品種改良にも新たな考え方や手法が取り入れられるようになりました。 本講座では、県立広島大学生物資源科学部生命環境学科で学ぶことができる、ゲノム編集や遺伝子組み換え技術など最先端の知見を紹介しながら、受講生の皆さんとこれからの食や農業について考えていければと思います。</p> <p>【授業計画】 1 限目：9:00-10:00 育種の歴史を振り返ります。また、ゲノム情報の解読方法や、ゲノムから何が分かるかなどを解説します。</p> <p>2 限目：10:10-11:10 遺伝子組み換え技術やゲノム編集技術について紹介します。1-2限の内容をもとに、自分の考えをまとめます。</p> <p>3 限目：11:20-12:20 これからの食と農業について、受講生の皆さんと議論し、全体のとりまとめをします。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ <u>ない</u>	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日：6月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン(同時・録画)の使用ソフト、受講時の注意など 特になし					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講になる場合があります。